



ふれあい ひろば



鎌倉時代の正和元年、宇都宮八代城主の貞綱が、母の供養に建立したこの鉄塔婆は、高さが三・三層もある日本最古のもの。極めて珍しい鑄鉄の大平塔婆で、阿弥陀三尊像と九十字の文字があります。当初は、東勝寺にありましたが、廃寺になったため、清巖寺に移されました。建立が約七百年も前のものだけに、保存状態を良くする努力が欠かせません。今年からは、さびの変化を知るための湿度センサーも取り付け、毎日のデータをとっています。(明治44年8月9日、国の重要文化財に指定)。



とうば
清巖寺の鉄塔婆
大通り5丁目 樋口良弘さん

文化財ウォッチング